

令和8年度 館林市立第四中学校 学校経営ビジョン



◆目指す学校像

- 【生徒】 毎日笑顔で通いたい学校
- 【教職員】 働きがいのある学校
- 【保護者】 安心して通わせたい学校
- 【地域】 応援したい学校



【日本遺産「里沼」】 祈りの沼『茂林寺沼』

◆学校教育目標

自らはたくましく、他には思いやりのある生徒

- 自ら学ぶ力を持ち、たゆまず努力する生徒
- 自分を大切にし、思いやりのある生徒
- 生命を尊び、心身を鍛え合う生徒
- 奉仕の心を持ち、社会に役立つ生徒

◆目指す教職員像

- 生徒を「ほめて、励まし、そっと背中を押す」教職員
- 保護者に信頼される教職員
- 地域に貢献する教職員

【教育方針】 ——— 「心温かい生徒」 「粘り強い生徒」 を育む学校づくり ———

確かな学力

- ◆「主体的・対話的で深い学び」の実現
 - 「～させる」から「～する」授業への転換
 - 集団学習のよさを実感する協働的な学びの推進
 - 校内研修の充実と一人1授業の実践推進
 - 「週案」を活用した指導の振り返りの促進
- ◆基礎・基本の定着
 - 言語能力の育成と言葉による表現、対話の充実
 - ミライシードを活用した週1回以上の定着指導
 - 定期テスト前における補充・発展指導の充実
- ◆基本的な学習習慣の形成
 - 「粘り強い」学習態度を養う授業実践の継続
 - 保護者との共通理解の推進
 - 家庭学習習慣の確立とノート指導の推進

豊かな心

- ◆温かい人間関係づくり
 - 居場所を感じられる学級・学年・学校づくり
 - 共感的な関係を通じた自己存在感の感受
 - 学校・学年行事等での生徒の主体的な活動推進
 - 道徳の授業改善と道徳教育の充実
 - 全教育活動での人権教育の充実
 - 自らを守るための情報リテラシーの向上
 - 「四中いじめ防止基本方針」の共通実践
- ◆成長を促す指導の推進
 - 重層的支援構造に基づく発達支持的生徒指導
 - 凡事徹底と問題行動への迅速な組織的対応
 - 不登校生徒への継続的な教育相談・支援充実
 - SC・SSW・地域福祉機関等との連携充実

進路・生き方

- ◆行事・総合的な学習の時間の充実
 - 里沼学習や「四中の森」等の地域素材の活用
 - 地域理解と地域貢献(CS活動の推進)
 - 多様な体験活動の機会設定と学びの質の向上
 - 成長を可視化するキャリアパスポートの活用
- ◆個に応じた進路指導
 - 職場体験や高校体験入学に向けた系統的指導
 - 生徒と保護者に寄り添った丁寧な面談の実施
 - 「個別の指導・教育支援計画」の組織的活用

健康・体力

- ◆基本的生活習慣の定着
 - 望ましい生活習慣の定着を図る取組の充実
 - 養護教諭を指導の要とする健康教育の充実
 - 日常的な感染症対策の継続と意識の向上
- ◆体力の向上
 - 新体力テストの結果分析に基づく運動機会創出
 - 体力向上プランに即した体育授業の実践
 - 体育的行事に向けた積極的な取組の充実
 - 適正な部活動の維持運営

安全確保

- ◆生命尊重・安全教育の推進
 - SOSの出し方教育の充実と受け止め体制再編
 - 安全指導を通じた予測・回避能力の育成
 - 交通安全に向けた指導と意識の継続的向上
 - 安全点検の徹底と教育環境の整備の徹底
- ◆危機管理の徹底
 - 心理的安全性の構築(失敗を話せる職場づくり)
 - 悩みを相談でき、安心できる温かい職場づくり
 - 教職員の服務規律の徹底と迅速な組織対応

◆喫緊の教育課題の解決を目指して

- 生徒の主体的な活動の充実
- 不登校生徒を生まない居場所づくり
- 確かな学力の向上
- 自らを守る情報リテラシーの育成
- CS活動の拡充